

学びや

タイムスリッパ



写真1、猪飼嘯谷「桃太郎図」(1932年、元滋野中蔵)

大猿、キジと一緒に
鬼退治、といえは「桃太郎」。日本で一番有名な昔話ですね。京都の市立学校には画家によって寄贈された絵画が多く所蔵されていますが、中でも「桃太郎」は多く見られ

る画題です。

(明治29)年にかけて東京の博文館から出版されました。

上京区の滋野中(現在は上京中・京都御池中に分割統合)に飾られている「桃太郎図」(写真1)はその代表で、明治から昭和初期にかけて活躍の読み物にして収載したにせられて、軍国主義であった猪飼嘯谷が描いて受容された国民的な昔話作品です。甲冑などが実に詳細に描かれ、画家の手腕がよく発揮されて

国民的なヒーローに

います。

「桃太郎」でした。

場する機会も多く、子どもにとっても身近な人物

桃太郎は学校に通う子どもたちのヒーローでした。著者は児童文学の第一人者であった巖谷小波となつていようです。1887(明治20)年に、南区の陶化小(現在に文部省が編さんした国語教科書「尋常小学読本」は巖谷自身が描いた「桃太郎図」(写真2)が所収され、多くの教科書で取り上げられ、唱歌の題材などにもなりました。94(明治27)年から96を通して、桃太郎は国民

学芸員 森光彦

石ノ坪の

桃太郎



写真2、巖谷小波「桃太郎図」(明治・大正時代、元陶化小蔵)